

# The Park Tool School Japan

## 『PARKTOOL SCHOOL JAPAN』とは

世界中の自転車ショップ、レースメカニックの間で最も使用されている工具ブランド“PARKTOOL”。

『PARKTOOL SCHOOL』は、アメリカを始めとして世界7か国で開講されているスポーツバイクメカニックスクールです。

『PARKTOOL SCHOOL JAPAN』ではスポーツバイクに興味を持つ皆様に、メンテナンスを通じて、自転車ライフをさらに充実していただくことを目的としております。

講習内では正しい工具の使用方法からスポーツバイクの組み立て、修理方法などを解説から作業までワークショップ形式で受講していただきます。



# 4つの特徴



## 1. 手ぶらで受講

原則的に講習内で使用する工具、機材等は事務局にてご用意します。  
講習当日は動きやすく、多少汚れても良い服装でお越しください。

## 2. 選べるコース

### ■ 定期コース (1日3時間×6回)

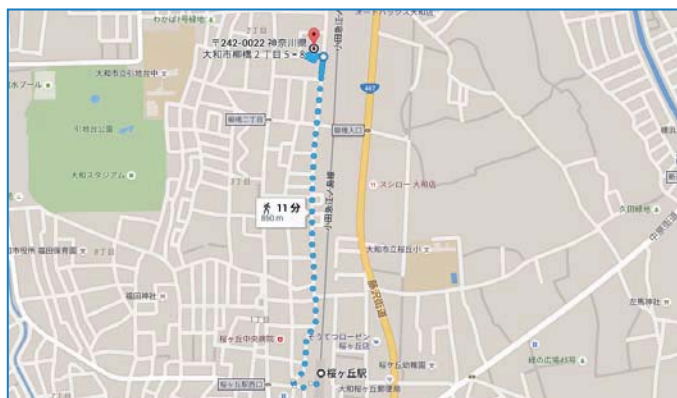
2週間に1度、6回(約3ヶ月間)に渡って受講していただくコースです。  
受講していただくペースとしても余裕があり、講習と講習の間の時間で復習したり、自分の自転車で見直してみたりできますので、メンテナンス初心者にもオススメです。

### ■ 短期集中コース (1日7時間×2回)

土日を利用した2日間で、みっちり受講していただくコースです。  
遠方からの受講や、定期的に時間が取れない方にオススメです。  
近隣にホテル等もございます。

## 3. 駅より徒歩11分

小田急電鉄江ノ島線の桜ヶ丘駅より徒歩11分。



## 4. 実績のある講師

主任講師：山路 篤

自転車専用工具メーカー、海外完成車メーカーを経て、次世代の自転車業界のための優れた人材育成を目的として「ドゥロワー」を立ち上げ。

国内外のレースメカニックを長年担当し、レース現場における補修テクニックから、販売店舗での組み立てや修理技術まで幅広い経験を持つ。

自身のスクール以外でも全国各地で数多くの講演や講習の講師を務めるなど、人材資源の積極的な育成に力を注ぐ。







## 講習内容

7分組みと呼ばれる工場出荷状態から、各パーツを分解し、分解したパーツから自転車を組み立てていく中で、それぞれの解説や実習を行いながら講習を進めていきます。

定期コース	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6
短期集中コース	DAY1			DAY2		
講習内容	基礎知識	ドライブトレインI	ドライブトレインII	ヘッド・ハンドル	ホイール	ブレーキ
	工具の使い方、オーバーホール、ネジについて、バイクの分解など	スプロケット、クランク、ボトムブラケットなどの取り付けなど	チェーン、ディレーラー、シフトレバー、ケーブルルーティング、変速調整など	ヘッドパーツ、ハンドルポジション、サドルポジション、バーテープ交換など	ホイールの組み立て、振れ取りなど	様々なブレーキの取り付けや調整など

各項目の解説と実習を講習していきます

※講習内容は受講者のレベルや進捗状況によって、変更される場合があります。  
※上記の内容は2013年10月現在のものとなります。予告なく変更される場合があります。



## 概要

主催	ホーザン株式会社
事務局	ドゥロワー
主任講師	山路 篤 (ドゥロワー)
日程	4半期単位 (1~3月、4~6月、7~9月、10~12月) にてご案内しております。 詳しくはWebサイトにてご確認ください。 <a href="http://www.hozan.co.jp/parktool/school/">http://www.hozan.co.jp/parktool/school/</a>
定員	3名 (最低催行人数2名)
使用機材	ロードバイク、マウンテンバイク、クロスバイク他
使用工具	PARKTOOL、HOZAN
場所	〒242-0022 神奈川県大和市柳橋2-5-8
受講料	35,000円

※上記の内容は2013年10月現在のものです。  
予告なく変更される場合がございますので、Web-Siteを参照ください。



## お申し込み・お問い合わせ

PARKTOOL SCHOOL JAPAN のWebサイトにて専用フォームよりお申し込み、お問い合わせください。

<http://www.hozan.co.jp/parktool/school/>



※画像はイメージです。予告なく変更することがあります。

Q 女性でも自転車のメンテナンスが出来るのでしょうか？

A もちろん出来ます！実際、女性の受講者も少なくないです。力の入れ方のアドバイスなどお教えします。

Q 自転車のメンテナンス経験がほとんどないのですが、講義にはついていけますでしょうか？素人が受講しても大丈夫なんでしょうか。

A 自転車とメンテナンスに興味があれば、初心者の方でも受講していただくことに問題はございません。それぞれのレベルに応じた進行を行っていきます。ただし、短期集中コースでは時間的な余裕が少ないため、できれば定期コースをオススメさせていただいております。

Q 受講する前に何か用意したり、予習しておくことってあるのですか？

A 特に用意していただいたり、予習していただくことはございません。意気込みさえあれば結構です。

Q 自分の自転車を持ち込んで受講したいのですが、よろしいでしょうか？また持ち込むことが可能であれば、どのような自転車でもOKなんでしょうか？

A 使用する工具等の準備もごさいますので事前にご相談ください。

Q 募集はいつ開始されますでしょうか？

A 3か月を1期として年間4回の募集を行っております。募集日の確定はしておりませんが、おおよそ次のスケジュールにて募集を行います。

受講期	1月期(1~3月)	4月期(4~6月)	7月期(7~9月)	10月期(10~12月)
募集期間	11月中旬~12月初旬	2月中旬~3月初旬	5月中旬~6月初旬	8月中旬~9月初旬

※都合により変更される場合があります。

Q キャンセル待ちはできませんでしょうか？

A 原則的にキャンセル待ちは受け付けておりません。ただし、急遽空席が発生したときなどに、ご案内をさせていただく場合がございます。

Q 募集開始されましたときにご連絡をいただくことは可能でしょうか？

A 個々に募集開始についてのご案内はしておりません。当学校のWebサイトもしくは事務局ドローワーのWebサイトにてご案内させていただきますので、募集時期にチェックいただければ幸いです。

Q 受講にはどのような服装で行けばよろしいでしょうか？

A 動きやすく、多少汚れてもいい格好が良いです。講習内ではエプロンも貸し出しておりますのでご利用ください。

Q 講習は何時までに行けばよろしいでしょうか？

A 原則的には講習開始時間までに来ていただければ結構です。30分前くらいから教室内で講師が準備をしておりますので気軽に入ってきていただければ結構です。

Q 定期コースでの受講を考えているのですが、どうしても日程が合わない日があります。別の日程に振り替えなどしていただけるのでしょうか？

A ご相談ください。対応可能かどうかはわかりかねますが、検討させていただきます。

Q 申し込みをしたのですが、講習にあたっての詳細の連絡がないのですが、どのようになっていますでしょうか？

A 申込みいただいてから1週間以内には事務局(ドローワー)よりメールにてご連絡させていただいております。それ以上経過してもメールが届かない場合はお手数ですがお電話くださいますよう、お願い申し上げます。

Q すでに自転車店で働いていますが、技術の見直しに受講したいと考えております。受講可能でしょうか？

A プロの方も多く受講されています。理論に基づいた技術の見直しや、一緒に受講されるアマチュアの方々の話からも、色々と刺激になるようです。

Q 受講中に作業を失敗して自転車を壊しても、賠償等はございますでしょうか？

A 失敗していただくことが講習の狙いでもあります。状況によりませんが、故意に破損させてしまうようなことがない限りは特に賠償を求めるようなことはございません。

## 受講者の声

- 2日目後半、集中力が途切れてしまいました。にもかかわらず、時間延長してまでわかるように講義してくださいました山路先生にはとても感謝しています。(H・Bさん)
- いままで自己流で自転車を触っていましたが、パークツールスクールのおかげで、より愛車を楽しく触ることができそうです。(H・Oさん)
- 理屈ではなく実習を通して得られたノウハウは自信の裏付けとなり即実践で役に立ちました。(A・Iさん)
- 講習というイメージ的には、ヒトがいっぱいいるという感じですが、3人というのは、あの近さにしても、凄いいです。質問もしやすかったりするので…(H・Aさん)
- 購入したメンテナンス関連の本がほとんど役に立たなかったのに対し、この講習は実践的で役立ちました。(S・Nさん)
- 「失敗したら」ということが怖くて今まで何もできなかったけど、講習で失敗をたくさんやったことで、加減というイメージがしやすくなったことで、メンテナンス時の意識が変わりました。(T・Fさん)
- 初心者には若干ハイレベルの内容だったとも思いますが、講習後に自分の自転車について、より関心が持てる様になりました。(M・Iさん)
- 失敗をして気づいていくプロセスが喜びになり自信につながりました。(N・Kさん)
- ここまでショップで色々やってもらっているとは思いませんでした。ショップを少し馬鹿にしていたところもありましたが、これからはお願いできる場所はお世話になろうと思います。(H・Yさん)